

2017年度から2024年度までの「ゼミ生の声」

以下の「○」のところから始まる部分が一人のゼミ生の声です。私がゼミ生の声に掲載する原稿を出してくださいとお願いしました。声を寄せてくれたゼミ生は自由意志でやってくれたので、一定の期限を切ると、寄稿してくれた学生数とゼミ員数はまったく一致しませんでした。

2017年度

○福田ゼミでは、民法について取り扱っています。主に、身近な事例を題材にして報告を行い、報告者以外は弁護士の見解とは違った見解をして学生全員でディベートを行うのが福田ゼミの特徴です。更に、他の講義で取り扱った民法関連の内容について報告することができるなど、柔軟な対応をしてくれるのも福田ゼミの良いところです。

○福田先生は14年前までゼミを開講していましたが、それからは大学院の方に行っていて、私たちのゼミから再スタートしました。実質私たちが一期生で、伝統も慣習もないので、臨機応変に物事を行うことができます。以上

2018年度

○福田ゼミは、日常生活で身近に起こりそうなトラブルをどうしたら解決できるのかを勉強する民法ゼミです。身近な事例を使うため、想像もしやすく理解も深まることと思います。しかし月曜1限ということもあり、遅延などで遅刻の原因にもなりやすいというのが難点です。

今年度は「法律討論会」にも参加し、賞こそ取れませんでしたか、達成感を得ることができました。

すごく忙しいゼミでもないため、資格の勉強などと平行してしっかり行うことができます。ゼミに入りたけれど、資格の勉強などやるのがたくさんあるという方は是非視野に入れてみてください。お待ちしております。

○福田ゼミの紹介

【はじめに】

みなさん、こんにちは。

これから福田ゼミについて紹介していきます。ゼミを選択するにあたって迷っている方が多いと思いますが、少しでもお役に立てれば幸いです。

【ゼミのメンバー】

2018年度のゼミ生は、法律学科7名、政治学科2名の計9名が所属しています。比較的少人数のゼミなので1人1人の意見が通りやすく、活動しやすいです。

私は政治学科ですが民法に興味があり福田先生のゼミを志望しました。ゼミで扱うテーマは日常トラブルの法律問題が中心なので政治学科でも民法の基本的な知識があれば

ば十分対応できます。

【活動について】

福田ゼミでは主に NHK の「バラエティ生活笑百科」の番組で取り上げられるような日常トラブルを題材に、「否定」と「肯定」に分かれて解答をレジュメにまとめ、発表します。そこから民法の問題について学びを深めています。

難しい部分や分からない部分があっても、福田先生がじっくりと、とても詳しく解説してくださるので理解を深めることができます。

夏にはゼミ合宿が行われます。今回は法学部主催の法律討論会で行うテーマであった

「満員電車の現状とその解消策」を取り上げ、意見を出し合いました。そして秋学期に行われた法律討論会にも出席しました。

【最後に】

福田ゼミは月曜日の 1 限にゼミがあるので朝起きるのがつらい時もありますが、自分の発表の回の際は日曜日までゆっくり考えてレジュメを作ることができるという利点もあります。福田ゼミは厳しくなく、ゼミで扱うテーマも日常生活に根差したものばかりで福田先生の解説も丁寧で分かりやすいのでとてもいいゼミです。

○ゼミ内容は、普段私たちが体験することも十分に考えられるような民事事件を対象に、福田先生の解説とともに理解を深めていくものです。

ゼミの雰囲気としては、他のゼミと比べると比較的少人数で、落ち着いたゼミになります。

もちろん、入る年のゼミ生によってゼミの雰囲気は変わると思うので、ゼミの色が出やすいとも言えます。

また、今年度は夏休み中に合宿を行い、法律討論会への参加の準備を行ったり、球技大会への参加も予定していて、行事には割と積極的なゼミです。

○福田ゼミでは、民法を中心に学習します。講義内容としては、毎回指定される事例問題について、肯定と否定の立場に分かれて報告し合い、民法についての理解を深めます。

このゼミの面白みは、指定される事例問題についての肯定と否定の立場も指定されているため、自分が正しいと思った 条文の適応だけではなく、別の条文の適応も考えなければならず今までと違った考え方を見つけることができることです。

また、指定される事例問題は、肯定と否定どちらにもとれるように作られているので、どのように自分の主張を通していか考えるのも、このゼミが楽しいと思えるポイントの一つです。

2019 年度

○法律学科 3 年女子学生

春学期の前半は、「君たちはどう生きるか」という小説を取扱い、みんなで読み深めました。様々な意見を共有して自分では思いつかなかった考え方に気づかされたり、登場人物について推量することはとても面白かったし、小説を使っの授業はとても楽しかったです。

春学期の後半からは、主に債務不履行についての事例問題を通して、改正前民法と改正民法の違いを学びました。身近な問題なので考えやすく、先生の説明も分かりやすいため民法の知識を深めることができるとも勉強になります。

少人数のゼミなので発言する機会も多いため、ただ授業を聞いているだけではなくて、しっかりと考えながら聞く習慣ができました。事例問題も親しみやすい内容なので、民法に興味あるけれど自信がないという方も良いのではないかと思います。

○法律学科 3 年女子学生

【全体について】

- ・月曜 1 限のゼミなので朝が弱い方には厳しいかもしれませんが
- ・月曜 1 限のゼミなので、生徒さんは比較的真面目な方が多いです
(先生も真面目な方です)

【発表について】

- ・発表は基本 1 人で行います(去年は 6 人だったので 1 人ずつ行いました)。発表が終わったあと、発表者以外の生徒がそれぞれの意見を述べます(発表者以外も毎回予習が必要)。

【合宿について】

- ・夏休みに一回(1 泊 2 日)で合宿があります
- ・合宿では普段のゼミの内容とほぼ変わらないですが、法律討論会のテーマについてもディスカッションをします。

○消費情報環境法学科 3 年女子学生

2019 年度の福田ゼミでは、春学期は「君たちはどう生きるか」という本について、各章ごとに担当を決め、毎週 1 人ずつ、作成したレジュメをもとに発表しました。秋学期は、改正前の民法と、改正後の民法について、指定の教科書に載っている事例に即して検討しました。今年度のゼミ生は 6 人で、和やかで話しやすい雰囲気でのゼミでした。ゼミ生の人数によっても雰囲気は異なってくると思いますが、先生に指名されて、もし返答に困っても、答えにつながるヒントをそれとなく出していただけるので、変な空気にはならないと思います。分からないことがあれば気軽に先生に質問できますし、そのことについて、丁寧に教えていただけます。月曜 1 限はちょっときつい…と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、課題が多すぎるとか、先生が気むずかしいということは全然なく、楽しいゼミの時間を送れるのではないかと思います。

○消費情報環境法学科 3 年女子学生

春学期の初めは「君たちはどう生きるか」についての感想を章ごとに分担された担当者が発表をします。発表時間は 30 分もなく、比較的話し合いよりは福田先生の質問に答えることが多いです。春学期の後半からは債権の改正前後での民法の解釈、適用にどのような変化が生じるかについて指定された教科書を用いて発表をします。わからなかったり、困ったことがあったりしても福田先生がゼミ生に対して答えやすい質問をしてくれるので発表しやすいです。ゼミ合宿では 1, 2 時間くらいしか勉強せずにずっと動物園で楽しんでいました。法律討論会やスポーツ大会、ゼミ合宿、コンパなどはゼミ生の

判断で決まります。今年はコンパ数回と夏休みのゼミ合宿のみ行いました。卒業された先輩方との親睦会は今のところ行われていません。月曜一限のため辛いですが、少人数で話しやすいゼミを探している方にはおすすめです。他のゼミでは教授に気を使って大変そうなゼミもありますが、福田先生はとても優しく、話すことが好きなためコンパで話題に困らないです。

○消費情報環境法学科 3 年男子学生

福田先生のゼミは民法の債権部分(改正前と改正後)を勉強しています。今年 10 月 20 日宅建試験の時、債権の問題はよく出しました。特に、現在勉強している「危険負担」に関する知識は宅建試験の時が出ました。そして、福田先生はドイツに留学したから、めちゃくちゃドイツ人と日本人のらしさがあります。(演習ゼミだけど、授業のような感じが強い)。休講と早めに終わりがほぼないから、すごく充実なゼミだと思います。

授業の時間は月曜日の1限で、みんな1限が終わった後、同じな授業を取れます。そんなにキツイではないと思います。特に、アルバイトがある方は1限と2限の授業を取って、午後はアルバイトに行けます。時間的にはすごく便利だと思います。

○消費情報環境法学科 3 年男子学生

今年度の福田先生のゼミでは、主に改正民法について、改正前と改正後でアプローチの仕方などの違いがあるのかを学びました。今年は少数のゼミ生で構成された年でしたが、講義内でも全員が発言し、ディスカッションに参加できているなど感じました。イベントも福田先生はゼミ生の意思を尊重してくれる方なので、コンパやゼミ合宿、スポーツ大会、法律討論会など様々なイベントにも楽しく参加することができました。とても楽しいゼミです！月曜 1 限であることが唯一の頑張りどころです！是非応募してみてください。以上

2020 年度

1 回も対面の授業がなかった年度でした(すべてリモートでの授業でした)。ゼミ生の声はありません。この年度は、ゼミ生にゼミの紹介を依頼しませんでした。ゼミ生は全員で 3 名で、すべて消費情報環境法学科の 3 年男子学生でした。ゼミ合宿は行いませんでした。しかし、リモートで開催された法律討論会に、オンラインで準備をした上で、出場して第 3 位を獲得しました。3 名の進路は、地方公務員 1 名、国家公務員 1 名、生命保険会社 1 名でした。2019 年度のゼミ専攻のための面接と 2021 年秋の卒業アルバムの写真撮影のときに 3 人のゼミと私が直接対面で会いました。3 人という少数だったせいもあり、この年度のゼミ生の顔(PC 画面を通した顔)は思い出深く記憶に残っています。

2021 年度

○法律学科 3 年女子学生

今年度は、春学期は「君たちはどう生きるか」という本の考察・感想について、秋学期は民法の債権について、指定教科書の問題に沿って学びました。章ごと、問題ごとに担当を 1 人決め、自身が作成し

たレジュメで発表しました。ゼミ生が7人と少人数であったため、毎授業で発言をするタイミングはありましたが、先生から指名を受けた質問が分からないものであっても、簡単な文章に言い換えてくださるほか、答えにつながるヒントを教えていただけるので指名を受けるたびに堅くなってしまうこともなく回答をすることができます。ゼミを通してレジュメの作り方、債権について全体を把握しようとする力を身につけることができました。

○法律学科3年男子学生

【ゼミでやったこと】

春学期の前半は、本の要約をしました。使用した本は、「君たちはどう生きるか」という本です。要約する箇所については、講義の中で決めて、各自準備をしてきて皆の前で報告します。後半では、「Before/After 民法改正」というテキストを使用し、その中にある事例を解説していきます。各自発表する事例の内容についても講義の中で割り振られます。

秋学期も春学期の後半と同様に、テキストにある事例を解説して、発表していきます。

【感想】

事例を通して、民法の改正前と改正後における見解の違いがよく理解できました。また、講義の中で先生が補足をして分かりやすいように説明して下さるので、非常に理解を深めることができます。

○法律学科3年男子学生

今年度の福田ゼミでは改正民法について、学んでいます。少人数体制のゼミで、学生と先生の距離が近いです。その為、わからないことがあったときには、細かい部分まで教えてもらうことができ、難しい事でも理解しやすいです。他のゼミと比べて、人数が少ない分、発言することも多いですが、先程述べたように細部まで教えてくれるので、わからないことがあって不安になる必要はないと思います。福田先生はとても優しくて気さくで本当に素晴らしい先生ですので学生としてもゼミを受けるのに良い環境です。

2022年度

○法律学科3年男子学生

来年度のゼミ生への情報提供をします。

福田ゼミは、債務不履行を中心とする改正民法について、事例に対して発表を行い、そのあと先生と質疑応答するような形で行われます。発表は一人で行うので、最初は不安だと思いますが、分からないところがあっても福田先生が優しく教えてくれます。発表は1回の授業で2人ずつ行われ、1学期で約3回程度の発表を行います。自分で事例で使う条文やその要件を調べて解答を作るので、法律の知識や理解力が身につくと感じます。改正民法に興味のある人、発表を通じて民法の理解を深めたい人などにおすすめです。以上

○消費情報環境法学科 3 年男子学生

福田ゼミに在籍しています。

私がこのゼミを志望した理由は、今後の人生で必ず役立つ内容であり、直近で考えれば就活の際に自分が大学でどんなことを勉強したのかをはっきり言える強みが持てるからです。

次に、ゼミでの具体的な活動や取り組みについて手ですが、この福田ゼミは例年、少人数でありゼミ生徒の距離はとて近くなります。人数が多いからといって決して仲良くなれるわけではありません！授業形態として判例について条文や要件を使って紐解いていきます。分からなくなっても福田先生が助けてくれます。（※ほとんど福田先生が解説してくれます。）

最後に、福田先生は本当に紳士で優しい方です。先日はゼミ会でとて豪華なご飯を先生にご馳走していただきました。また、就活の相談にも親身になって協力してくれます。少人数のゼミで友人を作り、就活、今後の人生で役立つ勉強をしたい方、今ゼミを迷っている方、本当におすすめです。以上

2023 年度

○消費情報環境法学科 3 年女子学生

堅苦しい雰囲気ではなく、毎回ゆったりとした雰囲気でゼミを行っています。ゼミの内容は、教科書の事例問題を取り上げ、先生から学生に質問するという内容です。皆さんが思っているようなパワポを作って発表するみたいなことはないです。福田先生からの質問は、答えられなくてもヒントをくれるので安心してください！！私自身、ゼミが始まる前は授業の内容についていけるのか不安に思っていたのですが、先生のとても分かりやすく説明して下さるので、そこの心配はないと思います！どこのゼミに入るか迷っている方、あまりゼミに時間取られたくないなど思っている方におすすめします！

○消費情報環境法学科 3 年男子学生

私が福田ゼミを選んだ理由は、部活の先輩の勧めでした。また福田教授の債権総論を 2 年次に受講していて、福田教授による授業の雰囲気も良く知っていたことも、福田ゼミを選んだ理由になります。ゼミの内容としては民法の改正点を事例で学ぶというテーマのもと教授が生徒を当てながら学習していく形になります。民法について、あまり得意でない方も教授がヒントをくれるので安心して参加することができます。さらにゼミコンパや球技大会などのイベントもあり、福田教授がステーキをご馳走してくれたこともあります。特に課題もある訳でもなく、教授が気難しいということないので、楽しくゼミの時間を送れるのではないかと思います。

○法律学科 3 年女子学生

福田ゼミは、クラスメイトみな仲良く、とても楽しいゼミです。福田先生の授業は、教科書をもとに事例問題を報告していく方式で進めていきます。福田先生は、とても優しくわからないところは詳しく解説してくれます。1,2 年生の頃に学んだ知識を活かしつつ、新しい知識を身につけることができるゼミです。授業内には指名され聞かれることもあります。クラスメイトと相談しながら答えます。その時も、福田先生が話の中で答えを導いてくれるので不安なことはありません。是非、福田ゼミに入ってみてください！

2024年度

○消費情報環境法学科3年女子学生

福田ゼミでは、2017年からの改正民法の債権部分を勉強します。身近な事例問題を取り上げて、法的三段論法によって解決する方法を教わるので、量をこなすことで自然と文章力が身につくのではないかと思います。疑問に思ったことにはその場で丁寧に教えてくださるので、とても充実した時間になります。ゼミは基本的に講義形式ですが、質問をしやすい雰囲気なので、まったく受動的な講義ではありません。楽しみながら債権法を学ぶことができます。

以上